

私立 上野学園大学 上野学園大学短期大学部

取組名称 音大における就職支援システム導入とCDAによる個別面談の強化

取組担当者 キャリア支援センター 職員 小島 亜紀子

1. 本学の概要

上野学園大学は1958(昭和38)年4月に設立された音楽学部音楽学科に4つのコース(器楽コース、声楽コース、ミュージック・リサーチ・コース、演奏家コース)を有する単科大学である。本学では、建学の精神である「自覚」に基づき、「学生一人ひとりの素質を見出し、個性を育み、発揮させるとともに、社会にあって美しい調和を創り出すことのできる人間の育成」を教育目標としている。これに沿って、本学では、学園の建学の精神「自覚」を教育の重要な理念とし、優れた文化の継承・創造と発展に寄与し、貢献し得る人間を育成することを使命とし、高度にして精深な学術、音楽芸術、音楽芸術を教授、研究することを目的とする。上野学園大学短期大学部は、1952(昭和27)年4月に上野学園大学短期大学として設立、1985(昭和60)年に上野学園大学短期大学部に改称して現在に至る。音楽科に3つの専門(ピアノ専門、器楽専門、声楽専門)を有する単科の短期大学である。短期大学部では、教育基本法及び学校教育法の精神に従って大学教育を施し、専門の知識と技能を授けるとともに、本学園、建学の精神たる自覚教育を以て人格を陶冶し、文化の創造と発展とに貢献し得る人間を育成することを目的とする。2010(平成22)年5月現在、大学269名、短期大学部65名が在籍している。

2. 本取組の概要

音大生の卒業後の進路は、音大卒業生の年間6,500人のうち、演奏家になれるのは3%の200人とごく少数で、就職率も50%を下回る。また、音大の就職先は音楽教室講師等の「音楽に関わる仕事」と一般的に思われがちであるが、少子化や景気後退のために新卒学生に任せられるポジションは大幅に減少している。そのため、音大においても一般企業への就職が可能な学生の育成とその体制を整えることが喫緊の課題となっている。しかしながら2009(平成21)年度時点では、就職

課員が他の業務を兼務しているため、集中して学生の就職支援に取り組むことが困難であり、就職活動に意欲的な学生しか支援できずにいた。そのため、その他の学生については支援できないまま進路未内定者というところで卒業を迎えてしまう恐れがあった。2009(平成21)年度2月に採択された本取組では、専属キャリアカウンセラーによる学生支援と就職支援システムによる、大学・カウンセラー・学生という三者の情報共有を通して、きめ細かい就職支援を行った。2010(平成22)年度は、2009(平成21)年度に実施した取組を継続するとともに、新たに学内合同企業説明会を実施し、学生と企業の結び付きを図っていく。こうした取組を継続していくことで本学独自の求人開拓を目指す。



写真1 キャリアカウンセリング風景

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 取組の趣旨・目的

音大卒業後、音楽系の就職の間口が狭いため、一般企業への就職希望の学生が年々増加している現状を考えると、音大においても一般大学と同じような就職支援体制を緊急に整える必要がある。本取組の目的は、専属キャリアカウンセラーの配置により、進路相談室(現キャリア支援センター)の開室時間内に随時カウンセリングが可能とすることで、学生の就職活動が円滑に行われることである。2009(平成21)年度は、専属キャリアカウンセラーの配置と就職支援システム導入

による進路未内定の卒業年次生の年度内の内定獲得を目標とする就職指導及び、次年度就職希望者への就職活動開始期における集中的な就職指導をより効果的に行うことを目的とした。また、2010(平成22)年度は、2009(平成21)年度 of 取組を継続することの他に、本学独自の企業開拓の一環として、本学で学内合同企業説明会を開催し、求人 の 足掛かりとすることも目標としている。

(2) 達成目標

2009(平成21)年度は、就職課(現キャリア支援センター)において1日当たりに対応可能な面談者数と面談時間数を増やし、特に継続的にカウンセリングを受ける学生を増やすことにより、就職活動の諸段階における様々な悩みや問題点の解決に向けて、学生に常時、指導及び助言を行える環境作りを目指すことを目標とした。2010(平成22)年度は、昨年度の取組に加え、初めて学内合同企業説明会を開催する。今年度は参加企業数を集め、学内で開催するということを目標とする。2010(平成22)年8月に開催した初回の学内合同企業説明会は、本学学内の会場の都合上、出展企業は10社ということで開催した。次回以降もほぼ同等の参加企業を募り、開催する予定である。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) 取組の具体的内容

進路相談室(現キャリア支援センター)にキャリアカウンセラーを常駐させ、就職を希望する学生の個別キャリアカウンセリングをはじめ、面接指導、書類添削等、就職活動に特化した支援を実施している。実施した支援内容、学生の相談内容等、学生とのやりとりは全て就職支援システムに情報を集約し、学生個々の現状を把握できるようにしている。また、次年度に就職活動をする学生により綿密な支援が提供できるように、就職活動状況の集計と就職活動をするに当たっての問題点等の洗い出しを継続的に行っている。また、2010(平成22)年8月に初めて開催した学内合同企業説明会では、学内で開催することによって、企業の採用担当者 と 直接面談をする機会を設けるとともに、説明会に参加する学生に事前に面接における注意事項等を改めて確認する場も設けた。開催に当たっては、本学学内ラウンジに企業の個別ブースを設け、企業の人事担当者と学生数名程度が面談をすることのできる形式で実施した。



写真2 学内合同企業説明会(2010年8月実施)

(2) 取組の実施体制

取組の実施に当たっては、進路相談室(現キャリア支援センター)に専属キャリアカウンセラーが平日9時から17時まで常駐することとしている。専属キャリアカウンセラーが支援をする事前に学内就職課(現キャリア支援センター)職員が行う進路面談にて、就職支援を必要とする学生を選別する。日々の支援体制としては、専属カウンセラーと学内就職課(現キャリア支援センター)職員が毎日ミーティングを行い、就職支援システムでは把握することができない、支援を受ける学生の詳細な現状の情報を共有する。また、日々のミーティングの他に本取組の実施に当たり、連携している就職支援会社のスーパーバイザーが定期的に来校し、カウンセリングの状況について確認と指導を行うとともに、支援における問題点や改善点等を検討している。学内の体制としては、本取組での就職支援によって判明した就職における音大独自の問題について情報収集をし、大学・短期大学で選出された教授者と構成される就職関係委員会(現キャリア支援センター委員会)において、定期的に話し合いの場を設けている。

2010(平成22)年度の取組である学内合同企業説明会については、今回が初開催ということもあり、同就職支援会社に助言・協力を依頼し、運営をしている。2010(平成22)年8月に初めて学内合同企業説明会を開催するに当たり、求人開拓も含め、企業に参加を募り、参加表明のあった企業には、実際に訪問をし、事前の打ち合わせを行った。この訪問を通じて把握した情報については、学生にもフィードバックをすることで就職指導にも役立たせている。

5. 本取組の評価体制・評価方法

(1) 評価体制

本取組では、カウンセリングの実施結果をカウンセラーが集計し、その情報から学内就職課（現キャリア支援センター）職員が量的効果と質的効果について報告書を作成する。その報告書を基に本学教授陣と就職課員で構成される就職関係委員会（現キャリア支援センター委員会）で討議し、目標の達成度と原因、改善点の把握と改善方法の検討を行う。

(2) 評価方法

キャリアカウンセリングについては、2009(平成21)年度の取組開始時より2010(平成22)年度も継続して、量的な指標として「面談者数」「面談時間数」を集計し、四半期ごとの「1日当たりの面談者数」「1週間当たりの延べ面談時間数」を算出し、その伸び率を計算している。質的な指標としては、学生の就職活動の進捗度合を持ってその成果とみなすものとして、「会社訪問数」「面接受験回数」「内定数」を把握し、学生1人当たりの活動数の集計、週ごとの伸び率を計算している。学内合同企業説明会に関しては、企業の満足度を把握するために企業ブースを訪問した学生の様子等について参加企業にアンケートを実施し、講評をいただいている。また、学内合同企業説明会に参加した学生がその後、各企業の選考にエントリーするなど、就職活動の足掛かりにすることができたかを確認する。

6. 本取組の実施計画等

●2009(平成21)年度

2月

- ・専属キャリアカウンセラーの選定
- ・学生への告知、ガイダンス実施
- ・就職支援システム導入

2月～3月

- ・専属キャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリングの実施
- ・専属キャリアカウンセラーと学内就職課員による情報共有ミーティング

3月

- ・専属キャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリング結果集計及び、報告書作成
- ・本学就職委員会での本補助事業の目標達成度・改善点等の検討

●2010(平成22)年度

4月

- ・専属キャリアカウンセラーの選定
- ・本取組の2012(平成24)年新卒生向けガイダンスⅠ（就職課活用方法）実施

4月～3月

- ・専属キャリアカウンセラーによる・キャリアカウンセリングの実施（就職活動ピーク時には2人体制とする）
- ・専属キャリアカウンセラーと学内キャリア支援センター職員による情報共有ミーティング

6月

- ・専属キャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリング結果集計及び、報告書作成

8月

- ・学内企業説明会開催

9月（予定）

- ・学内企業説明会開催
- ・専属キャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリング結果集計及び、報告書作成
- ・2012(平成24)年新卒生向けガイダンスⅡ実施



写真3 ガイダンスの様子（短期大学部）

12月（予定）

- ・専属キャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリング結果集計及び、報告書作成

1月（予定）

- ・学内企業説明会開催

3月（予定）

- ・専属キャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリング結果集計及び、報告書作成
- ・本学キャリア支援センター委員会での本補助事業の目標達成度・改善点等の検討

